

平成 28 年度 第 1 回高知県歯と口の健康づくり推進協議会 議事録要旨

1. 【日時】平成 28 年 7 月 27 日（水）19：00～20：50

2. 【場所】高知県庁本庁舎 2 階 第二応接室

3. 【出席者】推進協議会 15 名（4 名欠席）

事務局 6 名

4. 審議事項

(1) 基本計画に基づく平成 28 年度の取り組みについて

- ・むし歯予防対策
- ・歯周病予防対策
- ・高齢者等の歯科保健対策
- ・その他・災害歯科保健医療対策

(2) 第 2 期「高知県歯と口の健康づくり基本計画」改訂について

- ・基本計画の評価指標と目標値
- ・第 2 期基本計画の期間

(3) 今後の予定について

5. 議事の経過の概要および結果

(1) 議題の審議

議長の議事進行により、各議題について事務局の説明を受け、審議が行われた。

「議題（1）基本計画に基づく平成 28 年度の取り組みについて

【むし歯予防対策】

- フッ化物洗口が進まない理由は、日弁連や主婦連が反対しているせいではないか。インターネット上でも、フッ化物洗口の中止を求めている。
- 中学校等の施設管理者については、フッ化物洗口についての理解が不十分なだけであり、反対はしていない。
- 管理者等への地道なアプローチを進めるべきである。
- 高知市内での実施率が低いのは、反対意見を言われる人が多いという部分もある。保育所等は、人数が少ないため、取り組みやすいので広がりやすい面がある。
- 某地域では、養護部会の人達を対象に、フッ化物洗口に反対派の講師を招聘して、研修会を実施しているとも聞いている。
- 他県では、反対派の人たちと、賛成派の人たちを集めた討論会を実施したという報告もある。高知市の実施率を上げるためにも、こういった討論会をするべきではないか。
- 高知市では、フッ化物洗口に批判的、懐疑的、反対派の人がいると進めにくい。

現状は、周囲の理解も得ながら、丁寧に進めているところである。

【歯周病予防対策】

- 高知大学医学部附属病院では入院サポートセンターを4月に設置し、高知医療センターでも同様のシステムが立ち上がることになっている。設置後、歯科への紹介が増加しており、今後、さらに件数が増加すると、高知大学医学部附属病院だけでは対応できなくなる。その時には、高知県歯科医師会からも支援していただけるような体制を構築してほしい。
- 高知県歯科医師会内でも理解が進んでいる。高知大学医学部附属病院や高知医療センター周辺となると、高知市内の歯科診療所で対応することが想定されるが、今後協力していく体制を整えたい。

【高齢者等の歯科保健対策】

- 新基金事業について、検討中と聞いているが、診療所勤務に限らず、在宅歯科医療の現場でも、歯科衛生士が充足していない。このことについて、県行政の考え方はどうなのか。
- アンケートでは、診療所に勤務する歯科衛生士が不足していたと聞いているが、これについては、高知学園短期大学と対策を検討していく予定。在宅歯科医療の現場での不足については、復職支援等を考えている。
- 全国的にも歯科衛生士が不足していることも、考慮に入れてほしい。
- 介護関係者側では、どうしても入浴やトイレの介助に目がいきやすいため、摂食機能や口の中の状況については、把握するのが難しいのが現状である。口腔ケアの重要性についての認識を向上させるような取り組みが必要であると思う。
- 介護関係者としては、どこの歯科医が訪問に来てくれるか分からないため、歯科との連携が難しい。こういったことから、在宅歯科連携室の認識を上げていきたいと思うので、総会等の機会に、説明してほしい。そういうところから、今後の連携体制についての関係性を作っていきたい。

【災害歯科保健医療対策】

- 支部にコーディネーターを配置するかどうかについては、高知県歯科医師会内でも検討しているところであるが、日常診療もあるため、厳しい可能性がある。
- 透析コーディネーターのように、スタッフに協力してもらう方法や、輪番制で対応するといった方法もあるので、参考にしてほしい。
- 災害時の安否確認体制としては、高知県歯科医師会は登録者数45名、高知市歯科

医師会の登録者数は50名で現状95名であるが、なるべく早く100%に達するよう、周知を徹底していく予定。

「議題（2）今後の予定について

- 今後の予定としては、基本計画改訂のためのスケジュール等を踏まえて、今後の歯科保健医療対策について、次回の推進協議会で検討する予定について、了承を得た。

6. 閉会

以上をもって議事全部を終了した。